

# 令和6年 **7**月くらしのお手入れ



## お湯で洗ってしっかり拭いて 包丁の切れ味、長持ちさせる

☆包丁の切れ味を保つポイント

- お湯で洗ってしっかり拭く
  - \*水気は錆の原因。
  - \*しっかり水気を取ってからしまう。
  - \*錆てしまったら専用消しゴムを使うのも手。
- 他のものに接触しないようにする
  - \*食器やカトラリーとの接触で刃が欠けることも。
  - \*シンクの中で食器と重ねたり、引き出しの中にしまったりするのは避ける。
- できれば木製まな板を使う
  - \*まな板との摩擦で刃がダメージを負うこともある。
  - \*木製のまな板はあたりがやわらかく、刃にやさしいのでおすすめ。

(2024年6月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 曲げわっぱ弁当箱に冷凍食品

### 夏のお弁当、食中毒を予防する

☆夏のお弁当作りのポイント

- しっかり冷ましてから詰める
  - \*気温が20度以上になると菌が繁殖しやすくなる。
  - \*持ち運ぶときは保冷剤をつけ、温度が上がらないようにする。
- 菌をつけないようにする
  - \*買って来た食材はすぐに冷蔵庫に片づける。
  - \*衛生管理が徹底した環境で作られた市販の冷凍食品を使うのもよい。
- 抗菌作用のあるものを活用
  - \*紅生姜や梅干し、青じそには抗菌作用がある。
  - \*調湿機能のある木製の弁当箱を使うことも食中毒予防につながる。

(2024年6月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 住まいのお手入れ - 家の環境

### 錆が出てきた



#### ☆診断の手順

- \*鉄は年月が経過すると錆が発生します。
- \*定期的に錆を取って塗装しなおす必要があります。
- \*錆をほおっておくと、穴が開いたり下地を傷めたりすることがあります。

#### ☆対処方法

##### ●外壁や外部の金物に錆が出てきた

- \*海に近ければ塩の影響で錆が発生しますし、湿気の高い地域でもより多く発生します。
- \*環境は変えられないので、気が付いたら錆を落とします。

##### ●柱などを留めている金物から錆が出た

- \*構造材などを留めている金物から錆が見つかることがあります。
- \*断熱材が入っていなかったり、通気状態がよくなかったり、雨漏りで湿気が多かたりすると錆が発生します。
- \*建築士に住宅診断してもらって対策を検討します。

##### ●室内の金物から錆が出る

- \*建具に使用している金属部に錆が出ている場合は、室内の寒暖の差が大きい、湿気などの影響が考えられます。
- \*温度差をなくして換気をし、定期的に表面に付着している錆を落とします。

##### ●水道水から赤さびが出てきた

- \*水道をしばらく使っていなかった場合に、鉄が酸化し赤錆が出てきます。
- \*水をしばらく出せば元に戻ります。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)

